

2020.01.21

プレスリリース

写真展と講演会

「ニホンザルの生活と文化的行動」

写真展:2月1日(土)~3月13日(金)

講演会:2月1日(土) 16:00~18:00



写真展:2月1日(土)~3月13日(金)、写真展オープニング:2月1日(土) 18:30

火曜~土曜:10:00~18:00 ※2月29日(土)は13:00まで

講演会:2月1日(土) 16:00~18:00

雪玉で遊んだり、温泉に浸かったり、食べ物を洗ったり。文化的ともいえる多様な行動が見られるニホンザルを、フランス人写真家アレクサンドル・ボンヌフォワが、日本各地で撮影した写真の展覧会。初日に開催される講演会では、フランスの動物行動学者、セドリック・スユールが、ニホンザルの多様な行動や、サルのような文化的行動がどのように確立されたのかを紹介し、霊長類学者の京都大学 松沢哲郎特別教授と対談します。

会場・お問合せ:アンスティチュ・フランセ関西—京都 3F サロン(写真展) 稲畑ホール(講演会)

(京都市左京区吉田泉殿町8) T.075-761-2105

入場無料 逐次通訳付

主催:アンスティチュ・フランセ関西

共催:京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院(PWS)、

公益財団法人日本モンキーセンター(JMC)

講演者のご紹介

Cédric Sueur

セドリック・スウール

動物行動学者

ストラスブール大学准教授で、動物行動学・霊長類学・動物倫理学を教えている。研究分野は動物界におけるソーシャル・ネットワーク。2010年から2011年、(独)日本学術振興会(JSPS)の外国人特別研究員として京都大学霊長類研究所で研究。現在も共同研究を続けている。

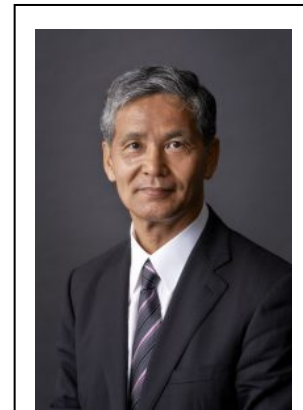
2019年、Institut Universitaire de France(国際選考委員会によって選ばれた、卓越した研究を行う大学教員・研究者で構成される組織で、教育業務を一部免除、特別研究費を受けて、研究に専念できる環境が与えられる)のジュニアメンバーに選ばれた。



松沢哲郎

霊長類学者

京都大学文学部哲学科卒業。1977年11月から「アイ・プロジェクト」とよばれるチンパンジーの心の研究を始め、野生チンパンジーの生態調査もおこなう。チンパンジーの研究を通じて人間の心や行動の進化的起源を探り、「比較認知科学」とよばれる新しい研究領域を開拓した。京都大学高等研究院特別教授。著書に『想像するちから』(岩波書店2011年、第65回毎日出版文化賞受賞、科学ジャーナリスト賞2011受賞)、『分かちあう心の進化』(岩波書店2018年)、『心の進化を語ろう』(岩波書店2019年)など多数。2004年紫綬褒章受章、2013年に文化功労者。



© Alexandre BONNEFOY